

# 英・米の主要放送局 IPTV動向概況と

最近、映像業界や通信業界、機器メーカーの間で大きく騒がれているIPTV（アイ・ピー・ティービー）。日本は充実したブロードバンド環境を持ち、世帯普及率も高い。実際、光ファイバーとSTBを使った映像配信サービスが数年前から複数スタートしており、アクティビラの映像配信が秋から始まるなど、IP回線で配信された映像をテレビで見る文化が広がりつつある。今後、このIPTVでのビジネスがどのように展開していくのか、またどのように展開すべきなのかを探るため、特に海外での注目すべき動きを俯瞰して、このマーケットの動向を考察してみたい。

## IPTV標準化をめぐる動き

日本では地上波デジタル放送のIPを使った再送信がよく議論されているが、IPTVの持っている可能性から考えれば、それはごく一部の利用方法と言えるかもしれない。そもそも、IPTVとは一体何を指すのか？ 決して、従来の放送コンテンツをIPインフラでテレビ受信機に映し出すことだけを指すわけではないだろう。

関係者の立場によって、その定義が微妙に違うようである。2007年6月の時点で、すでにサービスがたくさん存在しているが、仕様の標準化をしようという動きも世界各地で活発に起こっている。

標準化団体として主なものを紹介する。日本だと総務省が設立した「IPTVフォーラム」、テレビに組み込むSTB機能を定める「デジタルテレビ情報化研究会」、日本でのIP放送の形態を検討している「IPSP」と呼ばれる会合、海外では「Open IPTV Forum」（日本企業も参加）、ITU-T（International Telecommunication Union Standardization Sector）、欧州のデジタルTV放送方式の標準化団体「DVB」（Digital Video Broadcasting Project）、北米の通信関連技術の標

準化団体「ATIS」（Alliance for Telecommunications Industry Solutions）、米国家電メーカーの団体である「CEA」（Consumer Electronics Association）、「DLNA」（Digital Living Network Alliance）などのいろいろな団体が、それぞれの必要とするカバーエリアについての標準化を進めている。

## IPTVの定義について

各標準化団体の掲げるIPTVの定義または標準化の目的から考察すると、「IPTV」（Internet Protocol TV）とは**QoS（Quality of Service）が管理されたネットワークを通して放送のようにTV端末に向けて同時複数の視聴者に対して配信される映像コンテンツサービスの総称である**、という認識に統一されつつあるようである。

もちろん市場拡大のためには、標準規格を策定し、共通化によりコストダウンを狙い、そのための基盤となる考え方や定義を統一しておくことは最も重要な条件だ。しかし、IP経由の動画配信サービスという観点で考えれば、その配信先はTV端末だけがターゲットではなく、PCもモバイルも情報家電もその対象になり得る。ここでは、IPTV＝IP経由の動画配信サービスという広義なくくりで、今後のIP配信ビジネスがどう展開できる可能性がある

のかを探ってみたいと思う。

## 英・米の主要放送局の取り組み

2006年4月に発表されたBBCの「Creative Future」構想や、2006年3月のNBCの「TV 360」構想に示されるように、英・米の主要放送局も広義のIPTVマーケットに向けた多角的展開を我先にと取り組んでいる様子が伺える。映像コンテンツのプロの作り手であり、過去何十年間も主な発信者であった放送局がIPTVにどのように取り組んでいるのか。最近の注目すべき動きを、日本でも特によく知られている英・米の各主要放送局を中心に整理した〔表・52頁から掲載〕。

ここから次の3つのことが読み取れるのではないだろうか。

- ① IPを使った番組の配信サービスは、すでに始まっており、当然のサービスとなっていること。
- ② 〔表〕掲載のすべての放送局が、PCをターゲットとした「見逃し視聴サービス」を実施または予定していること。
- ③ 自社のWebサイトでの映像配信だけでなく、多様な配信業者と組んでモバイルやSTBを通してTVで見るなど、多様な配信先に向けたサービス展開を始めていること。

# にみる 考察

文：田中 潤

Tanaka Jun

(株)アイ・ビー・イー 先端システム研究所

## 多様化する配信先

PC 向けサービスは、自社サイトであるか他社サイトであるかを問わずにクロスサイト展開を行い、視聴モデルとしては、広告を挿入して無料でストリーミング配信するモデルと、HD コンテンツをダウンロードさせて課金するモデルの2つになりつつある様子だ。

TV 向けでは、Verizon の FiOS TV のようにケーブルテレビと同じ「回線 + STB」による月額課金モデルや、ゲーム機を経由して TV で見るモデル、少し違うが PC でダウンロードしたコンテンツを Apple の iTV のような STB を使い TV で見るモデルなどで展開している。

モバイル向けは、米国内では MediaFLO と MobiTV の二大勢力がすでにできあがっている様子で、モバイルでの視聴スタイルを考慮して短編にするなど専用の編成を行っているコンテンツ提供者も多い。

iPod や PSP、Zune などの携帯端末に向けた配信は、PC 経由でダウンロードさせるモデル。

また、課金という観点でいえば、Apple の iTunes がデファクトスタンダードを作った様子で、1 番組単位の購入モデルの場合 US\$1.99 という価格が標準的となってきたようである。

## 鍵を握る権利処理

さて、映像の配信ビジネスでの課題は権利処理である。〔表〕からも読み取れるように英・米の主要各局はなんらかの方法で権利をクリアにし、配信ビジネスを展開しているものと思われる。一体どのように権利処理をしているのかが、大変興味深い。

現時点で、すべての番組が配信対象になっているわけではないとしても、このように相当数の番組等の配信が始まると IPTV のメディアとしての魅力が増し、ユーザが増え、その相乗効果でマーケットの規模も広がっていくのではないかと。また理想論としては、技術仕様の標準化により、導入機器と運用のコストが下がり、さらにマーケットが広がるという「正のスパイラル」を描きたい。

## 小規模ローカル IPTV の可能性

ところで、〔表〕で紹介したのは英・米の主要な放送局の取り組みの状況だが、小規模・小資本で IPTV ビジネスを実践している例もあるので、ここで取り上げておきたい。韓国の南東に浮かぶ済州島（チェジュ島）の KONTV がそれだ。

KONTV はインターネットを使った PC 向け映像配信サービスだが、広告モデルでビジネスとして成り立っているという。このシステムを開発した会社から概要を取材することができたので、その成功の理由を考えてみたい。

まず済州島は、その立地条件から独自の文化を育んでおり、島民の帰属意識が高いという背景がある。もちろん島民は、お互いのことを何でも知っているような村社会である。驚いたことにこの島には3つの地方紙が存在するようで、このうちの1社の元社長が島民をターゲットにしたインターネット TV のアイデアを考案したのである。とにかく導入システムとコンテンツ制作費を極限まで落として、現地のレストラン、お店、観光地、ローカルニュー

ス、婚礼場などから安い広告費をもらって運用できるようなモデルを作ることだった。撮影の大半は DV カメラで行い、簡易なバーチャルスタジオも活用。素材の編集機能、タイトル挿入や広告挿入機能も持ち、送信サーバまでそろえたミニ放送局として十分成り立つシステムを構築しており、運用費を極限まで抑えている。また、視聴側の PC 画面も年齢層の高い人でも使えるように極力シンプルなものにしている。島という限られた空間と、島民同士の情報交流への要望がうまく作用して、このビジネスは成功しているようである。

大金をつぎ込んだ高価なシステムが必ずしも成功するわけではなく、低コストのシステム・運営を工夫して地域特性に合わせたサービスを行えば、ビジネスとして成り立つという好例としたい。

## 多様な配信先に 対応したコンテンツ制作

これまで見てきた流れを踏まえると、これからはテレビ内蔵の STB 機能、テレビ外付けの STB、PC、携帯電話、携帯情報端末などのさまざまな端末で、さまざまな映像コンテンツを見る時代と捉えられる。

狭義の IPTV サービスとしては標準化を推進し、より高い技術をより低いコストで提供する枠組みを作ることが重要だ。広義の IPTV サービスとしては、さまざまな端末に向けて映像コンテンツを展開する枠組みも必要だ。

さまざまな端末に向けた展開を考えると、既に普及したプラットフォームに対応する必要があったり、携帯電話など標準化されていても新しいハードウェアに対応した解像度やビットレートを新たに用意する必要があったりする。こうなれば、配信側は配信ビジネスの多角化時代に合わせて、少しでも低い経費で多様な配信先に合わせたコンテンツ作りの仕組みが重要であり、必要になっていくだろう。

[表] 英・米の主要放送局の IPTV ビジネスへの取り組み

国	放送局	時期	注目すべき動き	考 察
イギリス	BBC	2003年8月	・ ユーザによる加工を前提とした映像クリップ提供「Creative Archive」。商業目的でない限り、すべてのコンテンツを無料で自由にダウンロードできる全英国民対象のサービス。	・ 「商業利用禁止」「素材もそれを使用した作品も同じライセンスの元で扱われる」「作者を明記すること」「政治や宣伝目的のために使用してはいけない」「英国内のブロードバンドユーザのみ対象」というライセンス体系が興味深い。無料配信で、公共放送としての役割の一つという位置づけ。
		2004年6月	・ 「BBC Motion Gallery」にて60万時間分（フィルムで約1億5,240万 m）にも及ぶ素材映像のネット販売。 ・ “BBC Motion Gallery” というロゴと素材番号が入るが、HD 画像もフルレングスで無料で視聴可能であり、素材販売も行う。	・ NHKの素材映像も販売。その他にも BBD Sport、ABC(豪)、CBS、CCTV、Rip Curl、Urban Freestylerの素材もある。
		2006年4月	・ 「Creative Future 構想」を発表。配信プラットフォームを横断したコンテンツ展開をうたう。	・ これからの BBC のグランドデザインとして注目したい。
		2006年11月	・ 「BBC World News」が Orange 社のケータイで視聴可能に。（ベルギー、ポーランド、オランダ、ルーマニア、ポルトガル、ヨルダン、エジプト、ドミニカ共和国）	
		2006年12月	・ Azureus の P2P システムで BBC の一部の番組を PC 向けにダウンロード配信。無料配信で、権利コンテンツは配信先が限定される。	
		2007年3月	・ YouTube と提携して「BBC チャンネル」を設置。人気番組のショートビデオやニュースなど次の3チャンネルを配信。 ニュースチャンネル:「BBC World News」、エンタテインメントチャンネル:「BBC Worldwide」、人気番組関連クリップ:「BBC」	・ 広告モデルで、YouTube を“販促用の車”にたとえて、YouTube で BBC の番組を見たユーザを自社のウェブサイトに誘導する効果も狙う。 ・ 著作権問題については、BBC がニュースサイトで伝えるところによると、BBC のディレクター Ashley Highfield 氏は「一部の例外を除いて、既にアップロードされているコンテンツについては著作権を問わない。基本的には、YouTube(にアップされたコンテンツ)は自社のよい販促コンテンツになっている」との興味深いコメント。 また、同ニュースサイトで「YouTube とはこの3チャンネルの配信について、すでに数年契約をしている」とも記述されていた。
	2007年5月	・ Verizon の IPTV サービス「FIOS TV」にて「BBC World News」を配信。	・ Verizon の FIOS TV は2007年5月時点で米国内の10州でサービス中。34万8,000人のユーザがいて、24の HD チャンネル、8,600の VOD タイトルが利用可能と公表。	
		・ 2005年から提供してきた「オンライン・コンテンツ配信サービス」について、オンデマンドサービス（見逃し視聴サービス）を行うことを BBC の独立管理機関「BBC Trust」で承認。 ・ 承認されたのは次の4サービス。①テレビ番組の放映終了後7日間のインターネットによる見逃し視聴サービス、②同じく放映後7日間のケーブル経由での見逃し視聴サービス、③テレビ配信と同時のネットによるストリーミング配信、④デジタル著作権管理（DRM）のないオーディオのダウンロードサービス（ポッドキャスト配信）。	・ 同時再送信となると映画等の BBC 以外の制作番組の権利処理をどうするのか？	
	ITV	2007年5月	・ インターネットでの同時再送信と30日間の「見逃し視聴サービス」を5月に発表し、6月よりサービス開始。 ・ 「Best of ITV」のアーカイブコンテンツも用意する。プロモーションビデオ、予告編、インタビュなど番組を楽しむためのコンテンツも合わせて配信。ビデオニュース投稿なども可能に。ブロードバンド配信専用コンテンツも用意する。広告モデル。	
	アメリカ	NBC	2005年9月	・ Verizon の IPTV サービス「FIOS TV」で CNBC、CNBC World、MSNBC など配信。
2005年10月			・ iTunes で一部の番組を配信。1エピソード US\$1.99ドルで販売。 ・ 過去の番組に加えて、現在放映中のものは、放映の翌日からダウンロード購入可能。	
2006年3月			・ NBC の CEO がブロードバンド構想「TV360」を発表。	
2006年9月			・ 米 Time Warner 傘下の Time Warner Cable のサービス「Quick Clips」向けに、CNBC から CEO インタビュー、アナリスト報告書、市場業界ニュースなど、2分から7分程度の新しいクリップを毎日5本提供する。ケーブルテレビサービスの一部。	・ 「Quick Clips」は Time Warner Cable’s Enhanced TV 向けのサービスで、本サービスに参加しているチャンネルを視聴中に SELECT ボタンを押すと番組関連情報のショートクリップが視聴できるというサービス。番組を視聴中に別のクリップを見たいかどうかは判断の分かれるところだろう。
			・ インターネットの一部の番組の「見逃し視聴サービス」を実施。	・ 2007年6月現在で11番組。
2006年11月			・ AT&T の IPTV サービス「U-verse」で配信。ライブ、HD 映像、映画の VOD を配信予定。 ・ Microsoft の携帯型音楽再生端末 Zune で一部の番組を配信。 ・ NBC 報道番組「NBC Nightly News with Brian Williams」がビデオポッドキャストでの番組提供を開始（無料）。月曜～金曜まで毎日午後10時（東海岸時間）から番組をまるごとダウンロードできる。	・ AT&T は2008年までに19万世帯に FTTH または FTTP 契約をする予定と発表。
			2007年3月	・ 携帯向けテレビ配信サービスの米 MobiTV とプライムタイムのテレビ番組を、MobiTV で配信する契約を結んだと発表。 ・ 既に主要放送局の短編番組を配信していたが、プライムタイムの番組をフルレングスで流すのは初めて。料金は、1エピソード US\$1.99 で24時間視聴可能だが、料金は使用する通信業者により異なる。
2007年4月			・ Verizon の携帯電話向け MediaFlo サービス「V CAST Mobile TV」に NBC Entertainment と NBC News の2チャンネルを提供	
2007年5月			・ 2004年6月より試験提供していた携帯電話向けニュースサービス「MSNBC.com Multimedia on Mobile」の無料配信サービス開始。 ・ MSNBC.com のニュース記事と映像、写真にアクセス。 ・ US 国内向けサービスで、対応機種は今のところ Windows Mobile 搭載のスマートフォン。	
			・ 同社が提供するニュースを中心とするオンラインコンテンツを、ユーザが自分のブログなどに組み込み、配信することを可能にするウィジェットを発表。	
2007年夏			・ NBC と News Corp. が共同でビデオ配信サイト立ち上げへ。 ・ AOL、MSN、MySpace、Yahoo! がサービス当初の配信パートナーとなる予定。フルレングスの番組、映画、クリップを配信予定。まずは、US 国内に限定での広告モデルサービスになる模様。	・ フルレングスの映画を無料で見られる魅力的なサービスだが、広告だけでペイするのか？ DVD パッケージビジネスなどに与える影響も気になるところ。
			・ ABC News の動画ニュースクリップを Yahoo! サイトにて無料配信。広告モデル。 ・ Verizon の IPTV サービス「FIOS TV」で「ABC News Now」「Disney Channel」を配信。	
ABC			2006年5月	・ インターネットの一部の番組の見逃し視聴サービスを広告モデルで実施。

国	放送局	時期	注目すべき動き	考 察
アメリカ	ABC	2006年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>iTunes で一部の番組の関連コンテンツを配信、歴史的なニュース映像を「iTunes Music Store」で販売開始。</li> <li>配信されるのは、「ABC News Specials」「Celebrity Flashback」「The Day It Happened」の3チャンネル。1番組 US\$1.99の課金モデル。</li> <li>ABC News Now を携帯向けテレビ配信サービスの米 MobiTV で配信開始。</li> </ul>	
		2007年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>The Disney-ABC Television Group が米国携帯電話キャリア大手の Sprint のモバイルサービスに「ABC Entertainment」「ABC News and Disney Channel」を提供することを発表。</li> </ul>	
		2007年7月初旬予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットで人気番組のフルエピソードを HD 映像で配信開始する予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ON2 コーデックで2Mbps 以下での配信。解像度不明。</li> </ul>
	CBS	2005年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC 向け自社配信サイト「CBS News Video」で広告モデルのコンテンツ配信。</li> </ul>	
		2006年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>CBS Corporation の Showtime Networks とアップルは、ゴールデングローブ賞にもノミネートされた「Sleeper Cell」と「Weeds」を含む SHOWTIME からのプレミアムケーブルテレビ番組を iTunes で提供することを発表。1エピソード US\$1.99の課金モデル。</li> </ul>	
		2006年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verizon の IPTV サービス FIOS TV でコンテンツ配信の契約。</li> </ul>	
		2006年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Amazon UnBox にコンテンツ提供。</li> <li>テレビ番組が1エピソードあたり US\$1.99の有償サービス。映画はほとんどが US\$7.99～14.99で購入できるほか、公開されたばかりの新しい映画を US\$3.99でレンタル可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VC-1 Advanced Profile で DVD 並みの映像品質を実現している。</li> </ul>
		2006年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Yahoo!News」にニュース映像供給契約。</li> <li>1日当たりの配信本数は10～20本。ユーザは都市名や郵便番号を指定して特定地域のニュースを検索。</li> </ul>	
		2006年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Xbox 360を対象にテレビ、映画のコンテンツ販売。</li> <li>HD版の「CSI」「スタートレック」(リマスター版)などを投入。「NASCAR NEXTEL Cup Series」「Ultimate Fighting Championship」などのスポーツ番組もダウンロード販売されるのは初めて。ダウンロード販売で映画はレンタルのみ。</li> </ul>	
		2007年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>全米家電ショー (CES) では、CBS のレスリー・ムーバース CEO が YouTube などのあらゆるメディアを使い、本放送を見てもらう話題づくりをすと宣言。</li> </ul>	
		2007年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル部門 CBS Mobile を設立。</li> <li>米国3大携帯電話キャリアである AT&amp;T/Cingular に CBS Mobile としてモバイルコンテンツを提供することを発表。</li> <li>Verizon の携帯電話向け MediaFlo サービス「V CAST Mobile TV」にチャンネルを提供することを発表。</li> </ul>	
		2007年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国携帯電話キャリア大手の Sprint のモバイルサービスに、ニュースとエンタテインメントコンテンツの一部をフルレングスで VOD 配信開始。</li> <li>系列局のコンテンツを供給する「CBS Interactive Audience Network」を発表。AOL、Microsoft、CNET Networks、Comcast、Joost、Bebo、Brightcove、Netvibes、Sling Media、Veoh の10社と提携して、人気番組の「見逃し視聴サービス」のほか、ニュースやスポーツ番組などを配信。番組は米国内のみであるが、一部のビデオクリップやスポーツ番組は世界中に配信される広告モデル。</li> </ul>	
		FOX	2006年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPTV とブロードバンドサービスプロバイダの「Optical Entertainment Network」(OEN) が Fox Cable Networks と FOX のすべてのコンテンツを OEN FISION の定期購読者に IPTV 配信する契約。</li> </ul>
	2006年9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>Amazon UnBox にコンテンツ提供。</li> <li>テレビ番組が1エピソードあたり US\$1.99の有償サービス。映画はほとんどが US\$7.99～14.99で購入できるが、公開されたばかりの新作は US\$3.99でレンタル可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VC-1 Advanced Profile で DVD 並みの映像品質を実現しているという。</li> </ul>
	2007年2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>Verizon の携帯電話向け MediaFlo サービス「V CAST Mobile TV」にチャンネルを提供することを発表。</li> </ul>	
	2007年3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>Vividas と2007 Copa Libertadores のフットボール試合生放送10番組を流すことを契約。最初の数番組以降は1試合 US\$5.99の PPV。</li> <li>「FOX on Demand」を通して、FOX の番組を MySpace や200以上の系列局を通して配信。「見逃し視聴サービス」でトランザクションと広告からの利益分配型モデル。</li> </ul>	
	CNN	2005年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>CNN.com の動画ニュースクリップを Yahoo! サイトで広告モデル配信。</li> </ul>	
		2005年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC 向けサービスの専用ニュースチャンネル「PipeLine」。</li> <li>編集された映像だけでなく、現地からの中継生映像もそのまま配信。</li> <li>専用アプリをインストールして再生。月額 US\$2.95の有償サービスだったが、2007年7月から無償化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2006年9月の時点で、120万の専用プレーヤーがダウンロードされ、平均16万8,357人の同時アクセスユーザがいたという「CNN Pipeline」サービスが無償サービスに踏み切るのは、ポジティブな理由なのか、そうでない理由なのか。</li> </ul>
		2006年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「CNN Exchange」を始める。</li> <li>市民ジャーナリズムの可能性を広げるため、ユーザから寄せられた動画、音声、テキストを閲覧したり、共有したりできる動画共有サイトで、同社 Web サイト内に開設。内容を精査して CNN の番組に取り上げることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース版 YouTube とも言えるユーザ投稿動画共有サイトで、仕組みは <a href="http://bip.tv/">http://bip.tv/</a> を利用。</li> </ul>
		2006年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯向けテレビ配信サービスの米 MobiTV にコンテンツ提供。</li> <li>米 Time Warner 傘下の Time Warner Cable のサービス「Quick Clips」向けに CNN.com から最新コンテンツを提供。ケーブル TV サービスの一部。</li> <li>「Quick Clips」は短いビデオコンテンツを TV にプッシュする。例えば Weather Channel の「Storm Stories」を視聴しながら、同チャネルが提供するほかのコンテンツ、地元の天気予報などのクリップを表示できる。天気予報を見終わると、画面はまたもとの「Storm Stories」に戻る。</li> </ul>	
2007年5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>米 Internet Broadcasting に全国ニュースや政治、国際ニュースコンテンツを提供。Internet Broadcasting は、CNN の Web サイト「CNN.com」にローカルニュースを提供する広告モデル。</li> </ul>		
PBS	2006年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verizon の IPTV サービス「Fios TV」で配信。</li> </ul>		
	2006年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO「Open Media Network」と共同開発で、一部の番組をインターネットで配信。1エピソード US\$1.99の課金モデル。再生には専用アプリが必要だが、DVD 品質の映像が楽しめるのが売り。同サービスは、PC、モバイルメディアプレーヤー、携帯、STB 向けにも展開。</li> <li>「Google Video」での配信。</li> <li>プレビュー映像を低解像度で配信し、本編を高解像度で1エピソード US\$1.9で課金モデル。同時に、PBS の地方局の会員登録も促す。</li> </ul>		